

「浜岡原子力発電所 防波壁」土木学会賞(技術賞)受賞

当社は、浜岡原子力発電所の津波対策である防波壁の設計・建設に関して、公益社団法人土木学会の「平成26年度土木学会賞(技術賞)」を受賞しました。

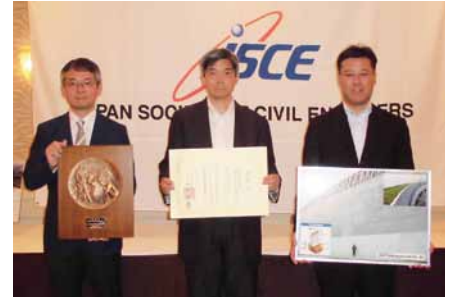
土木学会賞は、技術賞、環境賞など10区分が設定され、土木工学の幅広い分野から選ばれるものです。なかでも、技術賞は、土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる画期的なプロジェクトや設計・施工などの個別技術に与えられる賞であり、本賞を受賞するのは当社では初めてとなります。

このたびの受賞は、浜岡原子力発電所における防波壁の設置が、原子力発電所の津波対策として先進的な取り組みであり、安全性の向上に大きく寄与するとともに、土木技術全体の発展に貢献するものであると評価されたものです。

防波壁の設計においては、地震や津波に対して粘り強い構造とするため、岩盤中から立ち上げた鉄筋コンクリート構造の地中壁基礎の上に、鋼構造と鉄骨・鉄筋コンクリートの複合構造からなるL型の壁部を結合する、

新たな構造形式を採用するとともに、その設計性能について、振動模型実験や水理模型実験による検証を行いました。

また、建設にあたっては、一日も早い津波防護施設の構築を目指し、壁部を工場で分割製作し現地で組みあがるなど、連続的な構築を可能とする工夫により工期短縮を図っており、これらの取り組みが総合的に評価されたものと考えております。



(左から)
本店 発電本部 土木建築部 原子力土建 G
和仁 雅明 (7/1 スタッフ課長)
本店 発電本部 土木建築部
仲村 治朗 (スタッフ部長)
本店 原子力安全技術研究所 地震・津波・防災 G
田中 良仁 (G長) (研究主査)

徳山水力建設所が土木学会中部支部平成26年度技術賞を受賞

徳山水力建設所は公益社団法人土木学会の「平成26年度土木学会中部支部技術賞」を受賞し、平成27年5月11日開催された同支部総会において、論文発表者である青木崇副長に賞状と記念品が贈呈されました。

土木学会中部支部技術賞は、同支部会員が直接関与したものを対象に、土木技術の進展に顕著な貢献をしたと認められる優れた業績に対して、3月の研究発表会に口頭発表された論文から選ばれ、個人または団体等に贈られるものです。

徳山水力建設所が実施した「運用中の徳山ダム直下における水力発電所建設工事」について、適切に近接施工がなされたことが認められ受賞に至ったものです。

特に、ダム直下での地下空洞掘削および貯水池近傍の導水路トンネル工事は緻密に検証を重ね、適切な施工方法を選択し、各種計測管理や情報化施工を駆使することで主たる土木工事を完了したこと、この一連の施工ならびに各種検証は今後の水力開発における貴重な経験と土木技術の道標になるものと評価されました。



本店 発電本部 土木建築部 開発・技術G
青木 崇 (旧 徳山水力建設所 土木課 スタッフ副長)

第2回 原子力安全技術研究所 研究発表会を開催

原子力安全技術研究所は、平成27年6月13日、第2回目となる研究発表会を、研究所のある浜岡原子力発電所の地元、静岡県御前崎市の御前崎市民会館で開催しました。

これは、平成25年度から開始した公募研究を含め、これまでの同研究所におけるさまざまな研究成果を、地域の皆さまにお知らせすることを目的としています。

発表会では研究代表者による発表のほか、ポスターセッションなどが行われ、一般の方々をはじめ、学生を

含む大学関係者、当社の工事関連の協力会社の方など約250人の来場者がありました。



研究発表会会場の様子